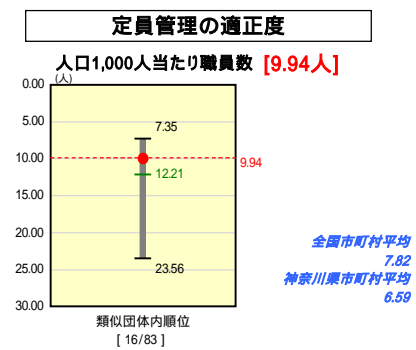
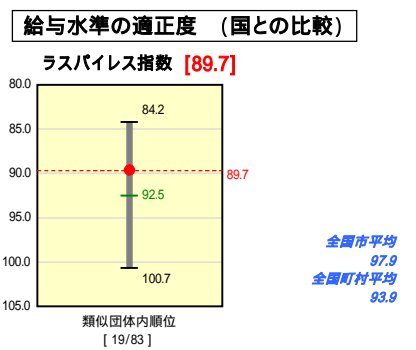
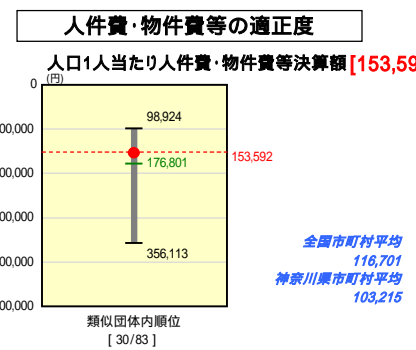
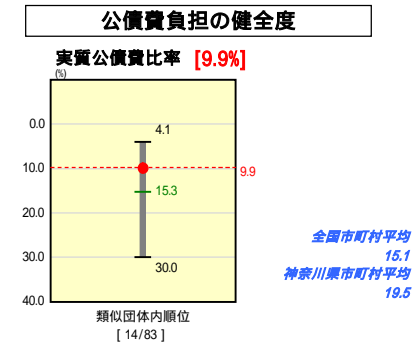
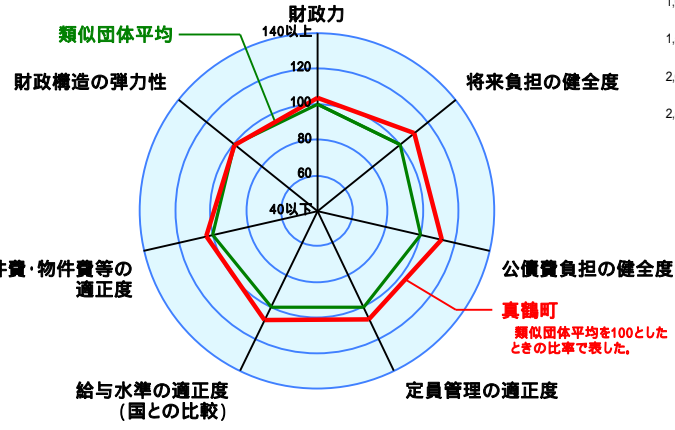
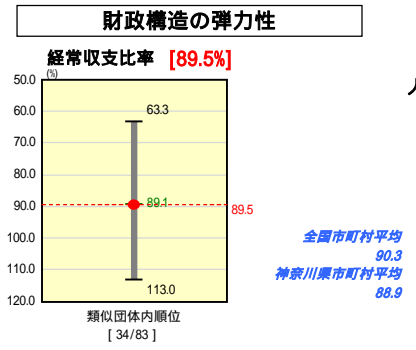
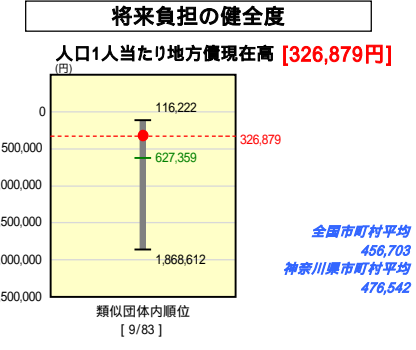
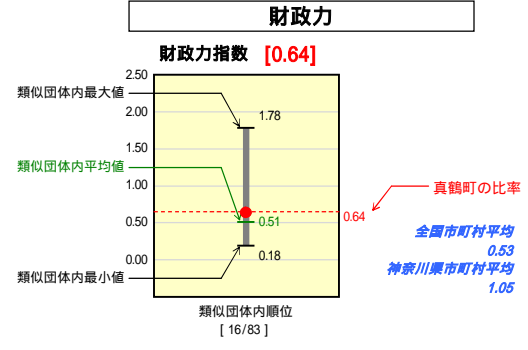


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

神奈川県 真鶴町

人口	8,849	人(H19.3.31現在)
面積	7.02	km ²
歳入総額	3,232,318	千円
歳出総額	3,084,799	千円
実質収支	147,519	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】平成14年度より5年連続で伸びをみせており、平成18年度では0.64となっている。類似団体平均は上回っているが、今後とも定員管理・給与の適正化等による歳出削減および地方税の徴収強化等を推進することにより財政健全化に努める。

【経常収支比率】公債費、補助費等の増加により、類似団体平均を若干上回っている。公債費については今後も平成25年度の償還のピークを迎えるまでは増加していくと見込まれ、更に施設の老朽化等による維持管理経費(物件費・維持補修費)の増加も見込まれるため、今後増加していく傾向にある維持補修費に関しては、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を検討していく方針である。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】類似団体平均を下回っているが、これは今年度地域手当5.3%への引き下げを実施したこと、また、ゴミ処理業務を一部事務組合、消防業務を湯河原町に委託していることが主な要因である。また、施設等の老朽化のため、今後増加していく傾向にある維持補修費に関しては、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を検討していく方針である。

【人口1人当たり地方債現在高】近年大規模事業が少なかったため、現在は類似団体平均を下回っているが、平成15年度には地域情報センター、平成16年度には町営住宅、展望公園の建設、平成18年度には小学校安全対策事業を実施したため、平成25年度の償還のピークを迎えるまでは増加していくと見込まれる。今後は人件費をはじめ義務的経費の削減を中心に行政改革を推進し、事業についても取捨選択を的確に実施し財政の健全化に努める。

【実質公債費比率】現時点では普通建設事業の適切な取捨選択により類似団体平均を下回っているが、臨時財政対策債・減税補てん償の措置期間の終了に伴い、順次元金償還が始まること、また今年度は、退職手当の財源に充てるため退職手当債の発行も実施したことから、平成25年度の償還のピークに向けて上昇していくと見込まれる。

【人口1,000人当たり職員数】昨年度に比べ数値は増加したが、類似団体平均は下回っている。しかし、全国市町村・県市町村平均数値と比較すると上回っている。引き続き定員適正化計画に基づき定年退職者等に対し、採用者を抑制し、又、ITの活用、事業の見直しを行い、更に効率的な運用を図っていく。

【ラスパイレズ指数】前年度に比べ0.5ポイントの増となったが、これは職員の採用退職に伴う階層の変動によるものと考えられる。全国町村平均・類似団体平均においても下回っているが、今後も引き続き給与の適正化に努める。